

令和7年度 札幌市立手稲西中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力の育成

学校番号：37502

手稲西中学校

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
<p>◇「課題探究的な学習の充実」を学校経営の重点推進目標に設定し、外部講師による講演、見学体験活動日（キャリア教育）の体験活動、小学校との合同研集会の実施等、校内研修が充実した。</p> <p>◇札幌市全体の共通指標の結果からも、「学ぶ力」が着実に育成されていることが読み取れる。</p> <p>◇学校評価アンケートの結果から、体育的行事や文化的行事に積極的に取り組んでいる生徒が増加傾向にある。</p>	<p>◇札幌市全体の共通指標の結果では「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」「自分で計画を立てて勉強している」の割合が低く、キャリア教育に関するアンケートでは「不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとしている」割合も減少傾向にあった。</p> <p>◇自分の「学び」を実感し新たな目標をもち、難しいことにも計画立てて挑戦する意欲を育成するために、キャリア教育等を充実させる必要がある。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市全体の共通指標の結果から「自己承認」や「他者への承認」はさらに向上している。今後は、他者との関係の中で、自分は役に立っていると生徒が感じられる場（他者からの承認）や、他者のために役立った、認められたと実感できる場（自己有用感）を作り出す活動を、学校教育の中で意図的に位置づけていかなければならない。また、ICT等を活用し、他者との対話や自己対話などを通して思考が深まる体験の中から、「自分の伸びや成長」を感じ取れる工夫も必要である。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

予測困難な課題に対して、試行錯誤しながら粘り強く挑戦する力

自分の良さを理解し、互いの個性や多様性を認め合える力

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の充実
取組	<p>◇「自ら学ぶ方法」と「人と学び合う方法」を身につけられるよう、ICTを積極的に活用した教育の推進。</p> <p>◇「学ぶ力」の育成プログラムの内容を全教職員で共有し、AARサイクルを意識した授業（生徒が学びの見通しをもてる授業）づくりの推進。</p> <p>◇キャリア教育（総合的な学習の時間）において、自己探求のための学習を推進する。</p> 	<p>◇常任委員会、局会、学年協議会での活動や行事に自主的、実践的に取り組み、互いの良さや可能性を発揮しながら<u>集団や自己の生活上の課題を解決する力</u>の育成。</p> <p>◇「3年間」「小中一貫」「地域」という広い視野で学校生活を振り返り、よりよい生活を築こうとする<u>力</u>の育成。</p> <p>◇コミュニティスクール（CS）を活用し、子どもの思いや願いを受け止め、家庭・地域が連携して子どもの学びと成長を支える<u>活動</u>の推進。</p>

〈本プログラムの実行に向けて〉

